

単元未満株式の買増制度および買取制度のご案内

当社には、単元未満株式を所有される株主さま向けに、単元株式数（1,000株の倍数）になるよう市場価格にて買い増しいただける「買増制度」、単元未満株式の市場価格での買取りを請求いただける「買取制度」がございます。



お手続き方法

特別口座で単元未満株式をご所有の株主さま
株主名簿管理人三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
 0120-782-031

証券会社等で単元未満株式をご所有の株主さま
お取引のある証券会社等にお申し出ください。

※ 単元未満株式の買増し・買取り手数料は無料となっておりますが、証券会社等を通じてお取引された場合、別途手数料が徴収されることがございます。詳細につきましては、お取引のある証券会社等にご確認願います。

多彩なコンテンツを掲載した
当社ウェブサイトをご利用ください

デンカ

検索



トップページ

IR情報



Denka

Possibility
of
chemistry

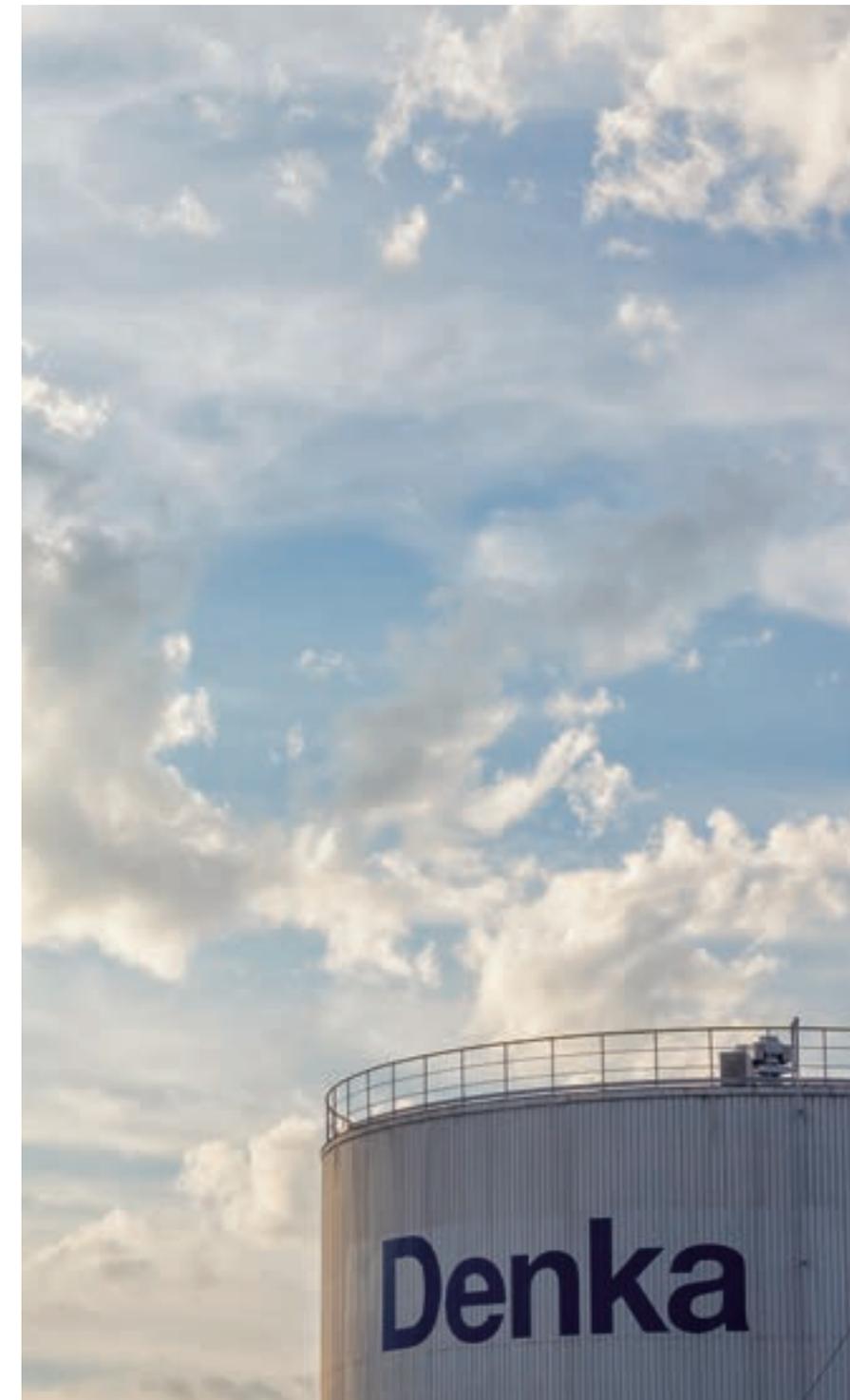
第158期

中間報告書

2016年4月1日から2016年9月30日まで

デンカ株式会社

(証券コード: 4061)



姫川港のサイロ(新潟県)

- P.1 マネジメントメッセージ
- P.4 連結財務データ
- P.5 ニュースチェック
- P.7 会社および株式の情報
- P.9 株主優待販売のご案内



外部環境の影響を受けにくい スペシャリティ製品主体のポート フォリオ構築に向け、健康関連事業など 成長分野へのシフトとグローバルな 事業戦略を加速させてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。当社の第158期中間報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

代表取締役社長 **吉高 紳介**

景気の足踏み状態が続く中、円高進行の影響が大きく、当社収益は前年同期比減益

2016年度(平成28年度)上期のわが国経済は、円高や中国・新興国経済の減速が続くなか、個人消費が力強さに欠け、輸出や生産も横ばいとなるなど、景気は足踏み状態となりました。

このような経済環境のもと、当社グループは、国内外での拡販やコストの削減に努め、業容の拡大と収益の確保に注力いたしました。この結果、今上期の売上高は、販売数量は増加し

ましたが、原材料価格の下落に応じた石化関連製品の販売価格の見直しや円高による手取り減少により、前年同期に比べ減収となりました。収益面では、営業利益は、円高の影響に加え、スチレンモノマーの隔年定修や海外展開および研究開発の加速による費用増があり、前年同期比で減益となりました。また、経常利益も、円高の進行により為替差損が発生したため、前年同期比で減益となり、純利益も前年同期に比べ減益となりました。

なお、当期中間配当につきましては、当初の

予想の通り1株につき7円とし、年間配当も前相比1円増配の14円とさせていただく予定です。

成長分野への経営資源のシフトとグローバルな事業戦略の加速

上期のこのような厳しい環境の中で、当社は、経営計画「Denka100」の新成長戦略の一つである「成長分野への資源集中と次世代製品開発」に関する取り組みについて、引き続き多くの施策を積極的に実行いたしました。

具体的には、「成長4分野」と位置づけた「環境」「エネルギー」「インフラ」「健康」への経営資源のシフトを積極的に進め、事業ポートフォリオの改革を進めました。

まず、「環境」「エネルギー」分野の取り組みとして、本年7月1日付で、本社に「Automotive Materials & Solution 開発推進室」を開設いたしました。この組織は、次世代の自動車産業の新ニーズを取り込むデンカグループ全体の窓口組織としての機能を有するものであり、今後は、グループの総合力を駆使し、“環境に優しく、安全で魅力のある車”づくりの一翼を担うも

のとして、事業の拡大を目指してまいります。

次に、「インフラ」分野では、東南アジアでの特殊混和材事業展開の一環として、マレーシアに続き、インドネシアの建設資材メーカーを子会社化いたしました。これにより、東南アジアの中でも市場が大きく、今後も発展が見込まれるインドネシアにおいて、地元ニーズに合わせた細やかな対応を迅速に行い、同国の社会資本整備に貢献してまいります。

最後に、当社にとって成長分野のドライビングフォースとして将来大きな成長が見込まれる「健康」分野では、本年7月に、これまで長年にわたり共同研究等の実績がある新潟大学との間で、さらに密接な協力関係を構築すべく、ライフサイエンス分野を中心とする包括的な産学連携推進に関する協定を締結いたしました。また、シンガポールに、同国科学技術庁(A*STAR)とのパートナーシップにより、ライフサイエンス分野初の海外研究開発拠点となる「Denka Life Innovation Research Private Limited」を設立いたしました。これにより、先進的かつグローバルな研究を担う人材を育成するとともに、オープンイノベーションをより一層加速してまいります。さらに、当社の主要グループ会社で

売上高		営業利益		経常利益	
当第2四半期累計		当第2四半期累計		当第2四半期累計	
1,718 億円		98 億円		74 億円	
通期予想	3,600億円	通期予想	240億円	通期予想	210億円
前第2四半期累計	1,826億円	前第2四半期累計	146億円	前第2四半期累計	135億円
前期	3,699億円	前期	306億円	前期	270億円

親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益		配当	
当第2四半期累計		当期中間配当	
61 億円		7.0 円	
通期予想	165億円	当期年間配当(予想)	14.0円
前第2四半期累計	99億円	前期中間配当	6.0円
前期	195億円	前期年間配当	13.0円

あるデンカ生研株式会社と、台湾に本社を置く戦略的パートナーであるPlexBio社との間で、同社が開発した医療現場のニーズを満たす画期的な測定システムに関し、業務提携契約を締結いたしました。本契約の締結により、同システムの日本およびASEAN地域における独占販売権ならびに同システムに使用する検査試薬の開発・販売を行う権利を取得いたしました。

「できるをつくる。」で、世界の持続的発展に貢献する企業に

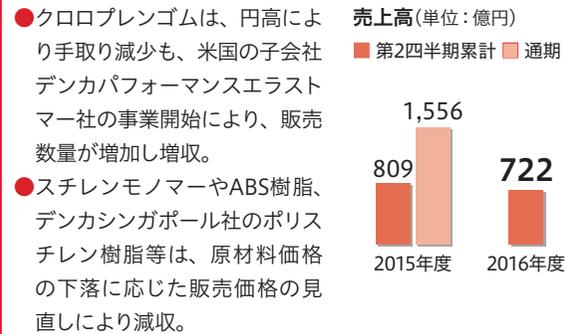
今年創立101周年を機に、当社は、次の100年に向けてデンカグループの企業活動の根幹をなす企業理念“The Denka Value”を制定し、「化学の未知なる可能性に挑戦し、新たな価値を創造(つくる)ことで、社会発展に貢献する企業となる。」ことを「Denkaの使命」として掲げました。

当社は、コーポレートスローガン「できるをつくる。」「Possibility of chemistry.」で、新たな価値の創造を通じて、世界の持続的発展への貢献を目指してまいります。

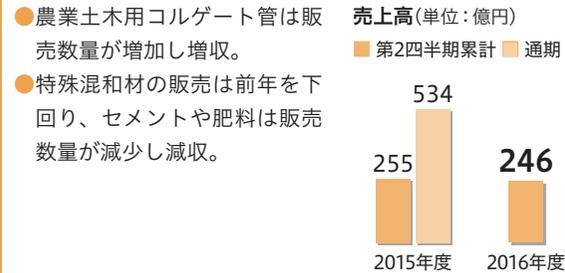
株主のみなさまには、一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

セグメント別の状況

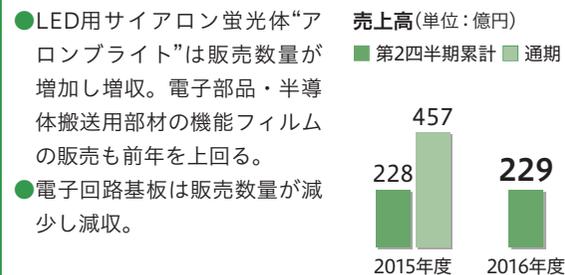
エラストマー・機能樹脂部門



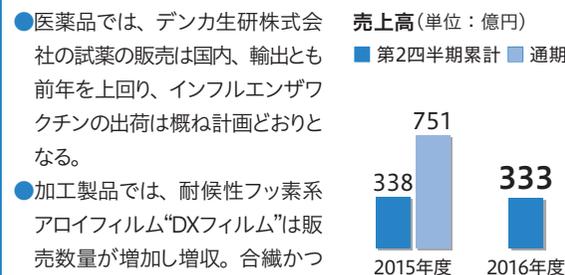
インフラ・ソーシャルソリューション部門



電子・先端プロダクツ部門



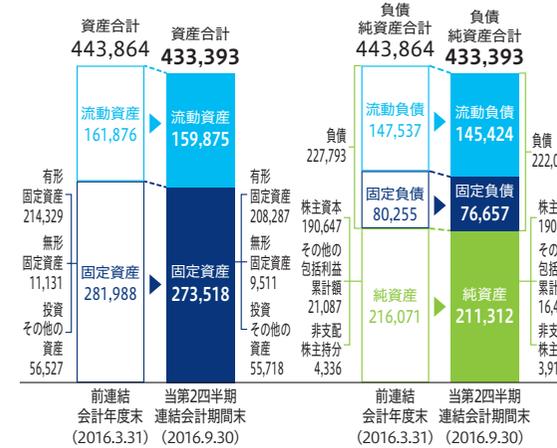
生活・環境プロダクツ部門



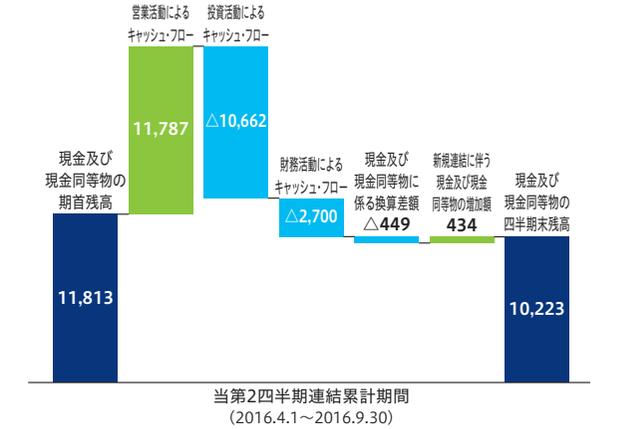
(2016年9月30日現在)

より詳細なデータについては当社ウェブサイトをご参照ください

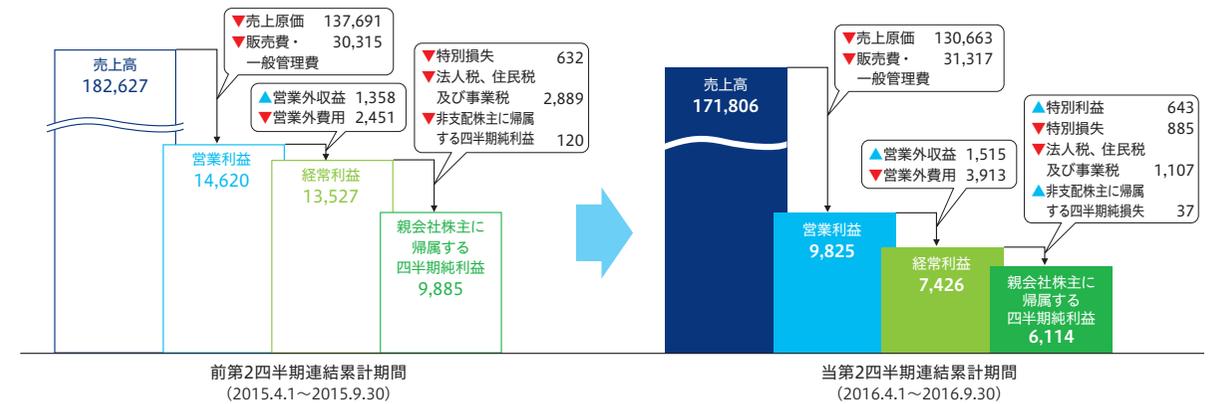
連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



連結貸借対照表 (単位: 百万円)

	前連結 会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末
資産の部		
流動資産	161,876	159,875
現金・預金	11,895	10,340
受取手形・売掛金	76,009	76,937
商品・製品	43,981	43,732
仕掛品	3,279	2,686
原材料・貯蔵品	16,839	16,866
その他	10,089	9,548
貸倒引当金	△ 218	△ 236
固定資産	281,988	273,518
有形固定資産	214,329	208,287
建物・構築物 (純額)	61,059	59,044
機械装置・運搬具 (純額)	78,378	73,036
工具・器具・備品 (純額)	3,046	2,980
土地	63,084	63,084
リース (純額)	371	348
建設仮勘定	8,388	9,792
無形固定資産	11,131	9,511
のれん	6,401	5,403
特許権	617	528
その他	4,112	3,579
投資その他の資産	56,527	55,718
資産合計	443,864	433,393

	前連結 会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末
負債の部		
流動負債	147,537	145,424
支払手形・買掛金	41,811	37,368
短期借入金	42,861	40,427
商業・ペーパー	5,000	10,000
一年内返済予定の長期借入金	18,225	10,073
一年内償還予定の社債	—	10,000
その他	39,638	37,551
固定負債	80,255	76,657
社債	30,000	20,000
長期借入金	28,510	35,169
その他	21,744	21,486
負債合計	227,793	222,081
純資産の部		
株主資本	190,647	190,914
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,284	49,284
利益剰余金	112,335	114,793
自己株式	△ 7,971	△ 10,161
その他の包括利益累計額	21,087	16,483
非支配株主持分	4,336	3,913
純資産合計	216,071	211,312
負債・純資産合計	443,864	433,393

当期前半における注目のトピックスをお知らせいたします。

デンカNEWS

検索

<http://www.denka.co.jp/news/>

その他の情報や最新の情報は、当社ウェブサイトの「ニュースリリース・トピックス」をご覧ください。



新潟大学との包括的な産学連携推進に関する協定を締結

デンカは国立大学法人新潟大学と、本年7月20日、ライフサイエンス分野を中心とする包括的な産学連携推進に関する協定を締結しました。

新潟大学は、高志(こし)の大地に育まれた敬虔質実の伝統と世界に開かれた海港都市の進取の精神に基づいて、自律と創生を全学の理念とし、教育と研究を通



左：吉高社長 右：国立大学法人 新潟大学 高橋学長

じて地域や世界の着実な発展に貢献することを全学の目的とし、日々活動されています。

一方で、デンカは新潟県内に、主力工場である「青海工場」(糸魚川市)や、インフルエンザワクチンや検査試薬などを生産しているデンカ生研株式会社(五泉市)をはじめとするグループ会社が多数あり、新潟県とは深いかわりがあります。さらに、2014年からは新潟スタジアムのネーミングライツを取得し、「デンカビッグスワンスタジアム」と命名させていただいております。

これまで、新潟大学とデンカグループは、医学部、歯学部を中心として長年にわたり共同研究等を進め、実績を上げてまいりました。今後は、包括的な共同研究を中心に、次世代技術開発を加速させてまいるとともに、さらに密接な協力関係を構築、活用することで、地域社会や国際社会の発展に貢献してまいります。



台湾PlexBio社との業務提携による健康関連事業強化

デンカの主要グループ会社であるデンカ生研は、台湾に本社を置く戦略的パートナーであるPlexBio社との間で業務提携に関する契約を締結し、PlexBio社が開発したIntelliPlex®システムの日本およびASEAN地域における独占販売権ならびにこのシステムに使用する検査試薬の開発および販売を行う権利を取得しました。

IntelliPlex®システムは、半導体製造技術とバイオテクノロジーを組み合わせ、短時間かつ簡便に多項目の測定ができる画期的なシステムで、免疫アッセイ法によるたんぱく質の測定と遺伝子測定の両方に対応するほか、高感度、コンパクトで、中～小規模な医療施設でも導入可能といった特長を持ち合わせています。

これらの特長を生かすことで、例えばノロウイルス、ロタウイルス、カンピロバクターなど様々な原因が想定される下痢症状に対して、一度の測定で原因を特定す

るといったことが可能になります。

このシステムとデンカ生研が長年にわたり蓄積してきた免疫アッセイ法試薬に関する技術との融合によ

り、臨床検査に新たな可能性をもたらすと確信しており、また従来保有していなかった遺伝子測定に関するプラットフォームを手にすることで、新たな検査領域での事業展開が可能となります。

デンカ生研は本システムの普及を通じて医療現場の多様な課題を解決し、世界の人々の健康維持、疾病予防に貢献してまいります。



「IntelliPlex®5000」(イメージ)



「Automotive Materials & Solution開発推進室」を開設

デンカは、7月1日付で、次世代の自動車および自動車部品に求められる、新規テーマに対応するため、全社横断的機能を持つ組織として「Automotive Materials & Solution 開発推進室」(略称AMS開発推進室)を開設いたしました。AMS開発推進室は、これまで各部門に分散していた自動車関連分野の製造、販売、研究開発の機能を一括し、インキュベーターとしての役割を担います。

自動車業界は、電気自動車(EV)や燃料電池車(FCV)をはじめとする環境対応(ゼロエミッション)や自動運転実用化へ向かう大きな変革期にあり、自動車および部品メーカーにおける加工技術面のみならず、素材面からのアプローチが重要なファクターとなっています。

デンカは、特殊合成ゴムであるクロロプレンゴムや、リチウムイオン二次電池用高純度アセチレンブラックなどで、自動車分野での実績があり、加えて無



機・有機の幅広い素材群と放熱・接着・高分子設計・樹脂加工等の独自のコア技術を有しております。

AMS開発推進室は、将来の自動車に求められる新たなニーズに対して、当社のコア技術を活かして、独自の競争力のある製品やソリューションを提供することにより、自動車関連分野での事業拡大を目指すと共に、「環境に優しく、安全で魅力のある車」づくりの一翼を担い、社会発展に貢献してまいります。

TOPICS

デンカ生研の検査試薬

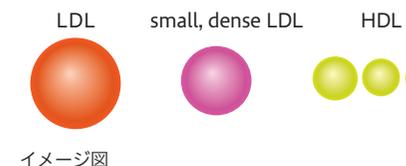
デンカは経営計画「Denka100」に掲げる成長戦略「成長分野への資源集中と次世代製品開発」において、「健康」分野を重点分野の一つとしてあげており、主要グループ会社であるデンカ生研を中心に事業を展開しています。ここではデンカ生研の事業の一つである「検査試薬」について、その一部をご紹介します。

超悪玉コレステロールの検査試薬

健康診断で測定されるコレステロールは、血液中をHDL(善玉)とLDL(悪玉)と呼ばれる物質の中に乗って運ばれており、中でもLDLはコレステロールが増えると、過剰分を血管壁に蓄積することから、動脈硬化の原因となります。

そして最近の研究によれば、LDLの中でも小型高密度のsd-LDL (small, dense LDL)は、粒が小さいため血管の壁のなかに入り込みやすく、血管壁に蓄積されやすいことが明らかになっており、このsd-LDLによって運ばれるコレステロールを「超悪玉コレステロール」と呼んでいます。

デンカ生研では2011年に、昭和大学の平野勉主任教授との産学連携により、この超悪玉コレステロールを測定する試薬を開発しました。この測定によって、動脈硬化等のリスクをより高精度に予測できることから、最近ではこの試薬を用いた超悪玉コレステロール検査を人間ドックに取り入れる病院や検査施設が増えてきており、国内だけでなく、米国や中国においても、普及活動を推進しています。



イメージ図

ピロリラテックス試薬

通常、胃の中は強い酸性なので、「菌」は棲むことができませんが、ピロリ菌は特殊な酵素によって棲むことが可能であり、胃粘膜を傷つけることで、胃の炎症を引き起こします。そしてこの炎症症状が続くと、慢性胃炎や萎縮性胃炎等が進行し、やがて胃がんの発生につながります。

この胃がん発生の原因となるピロリ菌感染の有無は、血液検査によって調べることができ、これと胃粘膜の萎縮度合いを調べる検査との組み合わせによって、胃がんになるリスクを評価する診断をABC検診(胃がんリスク分類)といいます。

デンカ生研では、このピロリ菌の感染有無を調べるための試薬を製造していることから、その使用拡大につながるABC検診に関する認知度アップに取り組んでいます。



会社概要

商号 デンカ株式会社
 設立 1915年(大正4年)5月1日
 資本金 369億9,843万6,962円
 従業員数 連結5,788名 単体2,974名
 (2016年3月31日現在)

事業所

本社

〒103-8338
 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号
 日本橋三井タワー TEL:03-5290-5055

支店

大阪、名古屋、福岡、新潟、北陸(富山県富山市)、
 札幌、東北(宮城県仙台市)

国内営業所

長野、群馬(群馬県高崎市)、広島、四国(香川県高松市)、秋田

国内研究所

デンカイノベーションセンター(東京都町田市)
 ●先進技術研究所
 ●ライフノベーション研究所
 ●インフラソリューション開発研究所
 ポリマー・加工技術研究所(千葉県市原市)

国内工場

青海(新潟県糸魚川市)、大牟田、千葉(千葉県市原市)、
 渋川、大船(神奈川県鎌倉市)、伊勢崎(群馬県伊勢崎市・太田市)

海外拠点

ニューヨーク、カリフォルニア、ルイジアナ、
 デュッセルドルフ、ドバイ、シンガポール、ベトナム、
 マレーシア、インドネシア、上海、北京、広州、
 蘇州、香港、天津、大連、台湾、ソウル

主な関係会社

デンカポリマー株式会社(東京都江東区)
 デンカ生研株式会社(東京都中央区)
 東洋スチレン株式会社(東京都港区)
 日之出化学工業株式会社(京都府舞鶴市)
 株式会社アクロス商事(東京都港区)
 株式会社YKイノアス(東京都文京区)

役員一覧

取締役および監査役ならびに執行役員

取締役		監査役		執行役員			
代表取締役社長	吉高 紳介	常勤監査役	玉木 昭平	社長執行役員	吉高 紳介	執行役員	小泉 健
代表取締役	綾部 光邦	常勤監査役	酒本 正徳	副社長執行役員	綾部 光邦	執行役員	新村 哲也
取締役	山本 学	監査役(社外)	笹浪 恒弘	専務執行役員	狩野 利春	執行役員	木村 順一
取締役	中野 健次	監査役(社外)	木下 俊男	専務執行役員	宇田川秀行	執行役員	今井 俊夫
取締役	前田 哲郎			専務執行役員	山本 学	執行役員	平野 秀樹
取締役(社外)	佐藤 康夫			常務執行役員	清水 紀弘	執行役員	田口 広一
取締役(社外)	山本 明夫			常務執行役員	松下三四郎	執行役員	渡部 秀樹
取締役(社外)	藤原 立嗣			常務執行役員	中野 健次	執行役員	横山 豊樹
				常務執行役員	鈴木 正治	執行役員	田淵 浩記

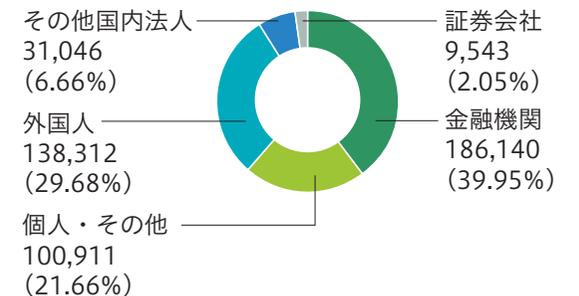
株式の状況

発行可能株式総数 1,584,070,000株
 発行済株式総数 465,954,121株
 株主数 31,994名

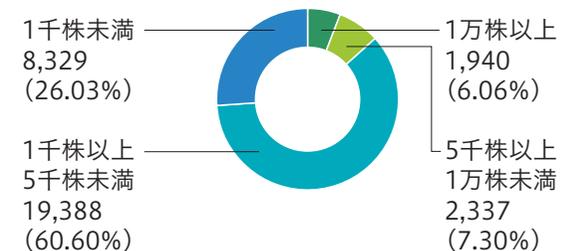
大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	33,302	7.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	31,514	6.76
デンカ株式会社	23,456	5.03
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	16,079	3.45
全国共済農業協同組合連合会	13,795	2.96
三井生命保険株式会社	11,908	2.56
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	10,428	2.24
資産管理サービス信託銀行株式会社(投信受入担保口)	10,013	2.15
三井住友海上火災保険株式会社	6,916	1.48
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	5,525	1.19
三井物産株式会社	5,437	1.17

株式所有者別分布状況(単位:千株)



株式所有数別分布状況(単位:名)



当期(2017年3月期)の「中間配当金」のお支払いについて

配当金計算書または配当金領収証にてご案内のとおり、**1株につき7円**とさせていただきます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主確定基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。	特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	6月	郵便物送付先(電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031
公告方法	電子公告の方法によりおこないます。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をおこなうことができないときは、日本経済新聞に掲載します。公告掲載URL (http://www.denka.co.jp/)	上場証券取引所	東京証券取引所
		証券コード	4061

株主優待販売のご案内

uruoi

○uruoiラインナップ

洗顔	化粧水	美容液	乳液	クリーム	UVケア	ベースメイク
<p>STEP 01 ①</p>  <p>uruoi メイク・クレンジングジェル / U1 (旧名称：潤 クリーンジェル) 2,500円 / 140g</p> <p>みずみずしいジェルがとろけながらメイクをやさしく落とします</p>	<p>③</p>  <p>uruoi スキンローション / U3 (旧名称：潤 スキンローション) 4,000円 / 155mL</p> <p>*1 *2 デンカの高純度ヒアルロン酸が、お肌をしっとり瑞々しくうるおす保湿化粧水</p>	<p>④</p>  <p>uruoi リペアエッセンス / U4 (旧名称：潤 リペアエッセンス) 9,000円 / 50mL</p> <p>濃厚なとろみで角質層までうるおいで満たし、乾燥によるダメージからお肌を守る美容液</p>	<p>⑤</p>  <p>uruoi モイスチュアミルク / U5 (旧名称：スウィートシュクレ ミルク) 4,000円 / 60mL</p> <p>お肌のバランスを整え、外気のダメージからしっとり守ります</p>	<p>⑥</p>  <p>uruoi エモリエントクリーム / U6 [新処方] 6,000円 / 40g</p> <p>化粧水や美容液で満たした「うるおい成分」をお肌に纏わせ、濃厚な質感のクリーム</p>	<p>⑩</p>  <p>潤 UVプロテクター [SPF38 PA+++] 2,800円 / 30g</p> <p>ジェル並みの保湿力でつけた後にツヤ感を与える乳液タイプの日やけ止め</p>	<p>⑪</p>  <p>潤 BBクリーム [SPF25] 1,500円 / 30g</p> <p>肌色を明るく整え、紫外線からお肌を守る薄づきの保湿BBクリーム</p>
<p>STEP 02 ②</p>  <p>uruoi クリーンフォーム / U2 (旧名称：潤 クリーンフォーム) 2,500円 / 100g</p> <p>きめ細やかな弾力泡が汚れや汗をやさしく包みこみ、しっとり洗い上げる洗顔料</p>	<p>⑫</p>  <p>スウィートシュクレ ローション 4,000円 / 120mL</p> <p>ノンアルコール処方ですら肌をやさしく包む、ペビーローションベースの保湿化粧水</p>	<p>⑭</p>  <p>エストネージュ 薬用ホワイトニングエッセンス [医薬部外品] [美白] ※3 6,000円 / 30mL</p> <p>紫外線によるシミやくすみを防ぎ、透明感のある明るい素肌へおだやかに導く保湿美白</p>				
<p>STEP 03 ⑨</p>  <p>潤 ホワイトニングクレイパック [医薬部外品] [美白] ※3 2,800円 / 120g</p> <p>気になる毛穴の汚れや、古い角質によるくすみをやさしく吸着して落とすクレイパック</p>	<p>⑬</p>  <p>エストネージュ 薬用ホワイトニングローション [医薬部外品] [美白] ※3 4,000円 / 150mL</p> <p>プラセンタと植物エキスでさっぱりと透明感あふれるお肌に導く美白化粧水</p>	<p>⑭</p>  <p>エストネージュ 薬用ホワイトニングエッセンス [医薬部外品] [美白] ※3 6,000円 / 30mL</p> <p>紫外線によるシミやくすみを防ぎ、透明感のある明るい素肌へおだやかに導く保湿美白</p>	<p>⑦</p>  <p>uruoi ディープ・モイスチュアジェル / A1 (旧名称：潤 フェイスマッサージジェル) 3,500円 / 140g</p> <p>みずみずしさを肌に纏わせ保湿しながらマッサージもできるオールインワンジェル</p>			<p>⑧</p>  <p>uruoi ハンドクリーム(3個セット) / HC (旧名称：潤 ハンドクリーム) 1,800円 / 30g×3本</p> <p>肌なじみのよい奥行きある質感のハンドクリーム</p>

※1 当社比 ※2 ヒアルロン酸ナトリウム(保湿成分) ※3 メラニンの生成を抑え、シミ・ソバカスを防ぐ

株主優待販売期間

2016年12月2日(金)～2017年1月31日(火)

優待期間外のご購入は通常価格にて、ウェブサイトにてお求めください

uruoi 株主優待
問い合わせ窓口

☎ 0120-06-8055

受付:平日10時～17時(土日・祝日・12/27～1/3を除く)

※ご購入前のお試しサンプルは4点まで電話にて承ります

購入方法

同封している優待注文はがきにご記入のうえポストにご投函ください
期間内2回目以降のご購入は問い合わせ窓口まで直接お電話ください

送料

ご注文総額3,000円以上は無料(3,000円未満は送料500円を加えてのご請求)

お支払い方法

後払い(コンビニエンスストアまたは郵便局窓口)、銀行振込 ※手数料はお客様ご負担
※請求書は商品と同梱